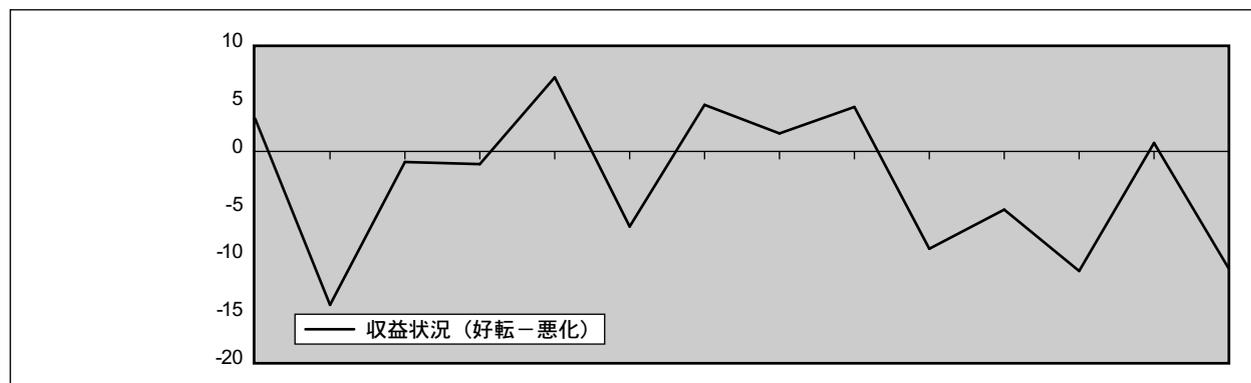


IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

期別 種別	16年	17年				18年				19年				20年
	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月
好転	22.4	17.7	19.7	21.0	23.5	18.6	23.8	18.4	23.2	19.2	16.6	12.4	18.6	11.7
横ばい	58.3	50.1	59.6	56.8	60.0	55.6	56.9	64.9	57.7	52.5	61.3	63.9	63.7	65.5
悪化	19.3	32.2	20.7	22.2	16.5	25.7	19.1	16.7	19.1	28.4	22.1	23.7	17.8	22.8
D.I.	3.1	-14.5	-1.0	-1.2	7.0	-7.1	4.4	1.7	4.2	-9.2	-5.5	-11.3	0.8	-11.1



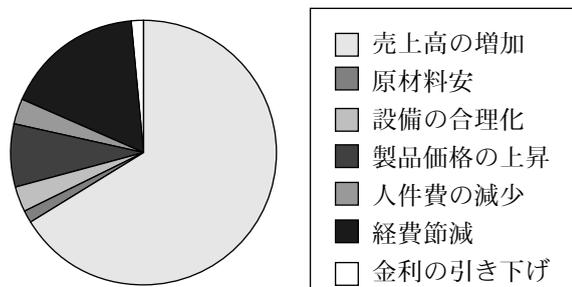
好転理由

期別 種別	16年	17年				18年				19年				20年
	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月
売上高の増加	75.7	74.4	69.7	65.5	69.1	56.3	64.6	61.9	61.5	69.4	61.4	66.2	61.2	56.3
原材料安	1.7	2.3	5.1	2.6	2.7	7.1	2.4	6.2	4.9	3.1	1.1	1.5	1.0	1.6
設備の合理化	2.6	4.7	0.0	2.6	1.8	2.7	2.4	4.1	2.5	4.1	4.5	3.1	2.0	4.7
製品価格の上昇	4.3	5.8	8.1	7.8	4.5	12.5	9.4	9.3	10.7	6.1	6.8	7.7	9.2	10.9
人件費の減少	4.3	3.5	2.0	6.9	5.5	1.8	2.4	6.2	5.7	6.1	3.4	3.1	3.1	6.3
経費節減	11.3	9.3	15.2	14.7	16.4	16.1	17.3	12.4	14.8	11.2	21.6	16.9	22.4	18.8
金利の引き下げ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	1.6	0.0	0.0	0.0	1.1	1.5	1.0	1.6

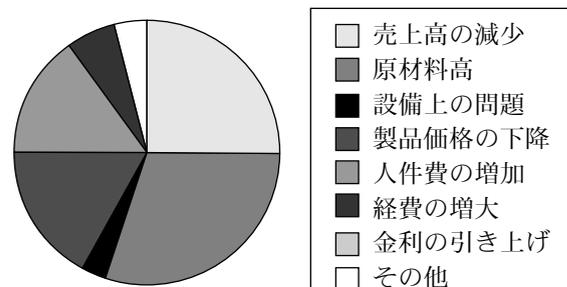
悪化理由

期別 種別	16年	17年				18年				19年				20年
	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月
売上高の減少	57.7	60.0	49.6	48.4	41.8	57.5	38.9	35.4	40.7	55.7	47.2	17.6	43.4	51.9
原材料高	18.3	21.1	19.8	19.8	20.4	19.4	24.1	28.1	20.3	18.4	25.0	21.0	24.5	21.1
設備上の問題	0.0	0.6	1.7	3.2	0.0	0.7	2.8	1.0	2.5	0.0	1.4	2.1	0.9	0.8
製品価格の下降	14.4	7.4	9.1	8.7	7.1	6.7	7.4	10.4	8.5	5.1	6.9	11.9	10.4	9.0
経費の増大	4.8	7.4	10.7	9.5	11.2	2.2	5.6	15.6	10.2	7.0	10.4	10.5	9.4	8.3
人件費の増加	1.9	1.7	5.8	5.6	8.2	9.7	12.0	4.2	8.5	6.3	2.8	4.2	4.7	4.5
金利の引き上げ	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.7	0.0	1.0	1.7	2.5	2.8	0.0	1.9	3.0
その他	2.9	1.8	2.5	4.8	11.2	3.0	9.3	4.2	7.6	5.1	3.5	2.8	4.7	1.5

好転理由



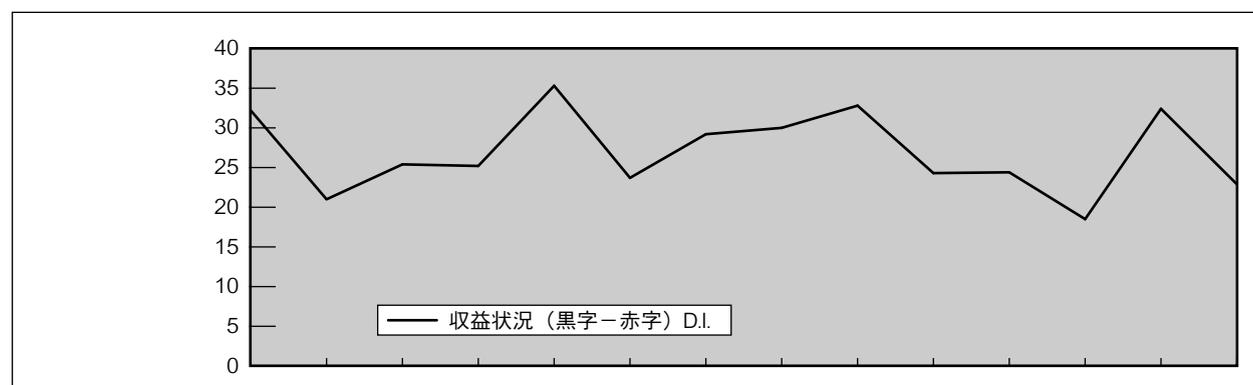
悪化理由



- (1) 7～9月期収益状況「好転－悪化」D.I.は、▲11.3と前期比5.8ポイント悪化した。先行きについては、19年10～12月期D.I.は0.8と19年7～9月期実績より12.1ポイントの好転を見込んでいる。しかし20年1～3期予測では悪化となっている。□
- (2) 「収益状況が好転した」理由、7～9月期実績は、①売上高の増加、②経費節減となっている。順位は前回と変わっていないが、売上の増加ポイントが増加している。先行きでも、「売上高の増加」が大幅な理由となっており、「経費節減」も依然高い理由となっている。
- (3) 「収益状況が悪化した」理由、7～9月期実績は、①原材料高、②売上高の減少となっている。売上高の減少とするポイントが大幅に低下し、原材料高とするポイントが増加している。先行きについても、原材料高を悪化の理由とする企業が増加している。10～12月期は更に3.5ポイント増加している。原油高騰が起因する、素材高・燃料費の増加が感じられる。

収益状況（黒字－償却後赤字）

種別	D.I. (%)														
	16年	17年				18年				19年				見込	予測
期別	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	20年
黒字	48.2	43.3	44.8	44.1	48.5	44.4	43.8	44.6	48.5	43.5	43.0	38.3	42.4	37.1	
収支トントン	35.8	34.5	35.7	37.0	38.3	34.9	41.6	40.8	35.7	37.3	38.4	41.9	47.6	48.7	
償却後赤字	16.0	22.2	19.5	18.9	13.2	20.7	14.6	14.6	15.8	19.3	18.6	19.8	10.0	14.2	
D.I.	32.2	21.0	25.4	25.2	35.3	23.7	29.2	30.0	32.8	24.3	24.4	18.5	32.4	22.9	



- (4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は、18年4～6月期以降改善してきていたが、19年1～3月期より低下してきている。19年7～9月期は18.5と最低ポイントとなった。例年1～3月期は悪化しているが、今回調査では、更に悪化の状況となった。19年7～9月期実績では80.2%の企業が黒字もしくは収支トントンと回答している。先行きでは、90%以上の企業が黒字もしくは収支トントンと回答しており、ポイントも増加している。□